※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	社会福祉基礎（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、少子化と高齢化、コミュニケーションについて、外国の福祉・社会保障制度、日本の社会福祉発展の歴史、日本の社会保険制度・生活保護制度、障がい者の理解と障がい者の自立支援制度といった内容を学んでいきます。多岐にわたる内容を学ぶのがこの科目の特徴です。制度や理論の学習が全般的に多い科目です。公民科の政治経済や現代社会が好きな人に向いています。制度や理論を扱うのでゆっくり進んでいきます。特に授業で紹介する制度については、生徒の皆さんも生活の中で必ず関わりをもつことになります。内容を暗記するのでなく、理解するように努めて下さい。生きた知識になると思います。

２　学習の到達目標

社会福祉に関する基礎的な知識を習得させ、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解するとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を自ら育む。特に社会福祉・社会保障制度について理解をし、生活者としての必須の知識を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、社会福祉の意義や役割を理解している。	社会福祉に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技能をもとに、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	社会福祉に関する諸課題について関心をもち、その改善向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期前半	社会福祉の理念と意義	・生活と福祉 ・社会福祉の理念 ・人間の尊厳と新たな福祉社会の創造	a 社会福祉の在り方や理念について、日本国憲法や社会福祉法、近年の国際的な福祉の考え方などを取り上げ、経済的救済中心から自立生活支援へと変化してきたことを具体的な事例を通して理解している。 b: 社会福祉の在り方や理念について、それらが個人的・社会的にどのように現れてきているか、具体的な事例を通して理解している。 c: 社会福祉の在り方や理念について、知識をもち、自らもその実現のための行動をとることができる。	小テスト	小テスト 授業中の発問への解答状況	ワークシートの取り組み 授業中の発問への解答状況
	社会福祉思の歴史と次代への展望	・諸外国における社会福祉 ・日本における社会福祉	a: 日本や外国の社会保障制度や日本における社会福祉思想の発展について、特に社会福祉が制度として確立していく明治期以降の歴史を理解している。 b:日本の社会保障制度のみならず、諸外国の社会保障制度にも興味をもち、両者の制度比較などに関心がある。日本と諸外国の社会保障制度を比較し、その優劣や長所・短所を考えることができる。 c:日常的に外国の社会保障制度などに関心を持ち、そのニュースなどを理解することができる。	小テスト	小テスト 授業中の発問への解答状況	ワークシートの取り組み 授業中の発問への解答状況

※令和４年度以降入学生用

前期後半	生活を支える社会福祉・社会保障制度	・社会保障制度の意義と役割 ・子ども家庭福祉 ・障害者福祉 ・高齢者福祉と介護保険制度 ・生活支援のための公的扶助 ・国民の生活を支える社会保険制度	a：日本の社会保障制度を構成する社会保険・公的扶助・社会福祉・公衆衛生などの制度の内容を、憲法２５条等と関連させながら、理解している。 b：日本の社会保障制度について、現制度の内容を理解し概要を述べることができる。また今後の制度の在り方などについて自分の考えを持ち、表現することができる。 c：日本の社会保障制度について、広く関心を持ち、現在の状況や今後の動向等にも興味を持っている。生活保護制度や介護保険法などによるサービスの内容を理解し、実際にサービス利用が必要になった時には利用するための手順を理解している。	小テスト	小テスト 授業中の発問への解答状況	ワークシートの取り組み 授業中の発問への解答状況

※令和４年度以降入学生用

	人間関係とコミュニケーション	・コミュニケーションの基礎 ・人間関係の形成 ・社会福祉援助活動の概要	a: 傾聴や受容、共感、援助者としての自己覚知や他者理解といった概念を事例を通して理解し、対人援助に必要な人間の理解や人間関係を構築させるための方法について理解している。 b: 高齢者や障がいのあるさまざまな人々の特性や介護に関わる家族の置かれた状況をふまえ、どのようなコミュニケーションをとることが相応しいか自ら考えることができる。 c: 言語的コミュニケーションのみならず、非言語的コミュニケーションの重要性、コミュニケーションのもつ意義や役割を理解し、コミュニケーションの基礎的な技法を身につけている。またさまざまなコミュニケーションの技法について興味・関心をもっている。	小テスト	小テスト 授業中の発問への解答状況	ワークシートの取り組み 授業中の発問への解答状況
	地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	・多様な社会的支援制度 ・地域福祉の進展と地域の将来	a:特別支援教育や成年後見制度などの制度の概略を理解している。 b:地域福祉に心を持ち、地域でのつながりの必要性を理解する。 c:地域福祉におけるボランティアの重要性を理解する。その上でボランティ活動に参加する気持ちを高める。	小テスト	小テスト 授業中の発問への解答状況	ワークシートの取り組み 授業中の発問への解答状況

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度